

第13回 姉妹港会議(2007年4月 サンフランシスコ港)に出席して

港湾局経営管理部

振興担当課長 佐古 里子



1 はじめに

2007年4月23日～25日の3日間、米国サンフランシスコ港において開催された第13回姉妹港会議に、川本港湾局長とともに大阪港代表として出席するため、約20年ぶりにサンフランシスコを訪れる機会を得ました。また、今年は、大阪港とサンフランシスコ港との姉妹港提携40周年にあたることから、会議中の公式行事として、記念式典・植樹式も実施されました。

この姉妹港会議は、昭和57年9月に、3港姉妹港（大阪、上海、サンフランシスコ）会議として、サンフランシスコにおいて第1回が開催されて以来、隔年で途絶えることなく持ち回り開催され（第3回からはル・アーブル、メルボルンが加わり5港姉妹会議）、今回で第13回を迎えました。

2 会議のあらまし

23日夕方、宿泊した会議の公式ホテル

ロビーにて、会議参加港代表者に加えて、サンフランシスコ港からは港湾委員会のアン・ラザラス会長ほかが出席してウェルカムレセプションが開催されました。このレセプションでは、地元の子供たちによるタップダンスが披露され友好ムードを盛り上げました。

今回の会議のテーマは、「サステナブル・ポート（持続可能な港）：経済的な成功をもたらす環境改善への取組み」。会場は、公式ホテルから徒歩5分のピア1にあるサンフランシスコ港事務所の会議室でした。サンフランシスコ港を皮切りに、大阪港、ル・アーブル港、上海港、メルボルン港、そして今回、サンフランシスコ港の姉妹提携港として参加していたコーク港（アイルランド）、ハイファ港（イスラエル）から、それぞれの港の概要・現況とあわせて会議テーマに沿ったプレゼンテーションが、24日午前・午後、25日午前中に行われました。大阪港について

は、川本局長から、現況の概要、港湾計画に沿った臨海部の開発動向、および港湾環境と都市環境の保全について緑地の整備や南港野鳥園、モーダルシフトを中心にプレゼンテーションを行いました。

24日、正午前から、会場（ピア1）の向かいにある公園の一角にて、大阪／サンフランシスコ姉妹港提携40周年記念式典・植樹式が、会議の公式プログラムとして執り行われました。

サンフランシスコ港を代表して、2週間前に港湾委員（委員会の定員は5名）に就任したばかりのステファニー・シャコフスキー委員からあいさつがあり、川本港湾局長のあいさつに続いて、記念品交換を行いました。サンフランシスコ港からは、サンフランシスコを代表するケーブルカーのベルが贈られ、大阪港からは難波津焼きの額を贈りま



シャコフスキーSF港湾委員会委員から川本局長に対しケーブルカーのベルが贈られる



川本局長からシャコフスキーSF港湾委員会委員に対し難波津焼きの額を贈る